



# 2020年度 スペイン語スピーチコンテスト（オンライン）

## 外国語学部スペイン語学科

2020年11月26日（木）にスペイン語学科スピーチコンテストが行なわれました。コロナウィルス感染拡大のため、今年度は初めてのオンライン開催となりましたが、スペインからの来場者も

含め70名以上が参加しました。コンテストは、暗唱や1分半のスピーチを発表する1～2年生向け

のCategoria Aと、3分間のスピーチと質疑応答からなるCategoria Bの2部門に分かれており、

合わせて12名の学生が日頃の学修の成果を発表しました。以下に参加学生たちの感想を紹介します。

業ではまだ習っていない文法、活用を覚えたりと多くのことを学んだとても良い機会になったと思います。

### 小澤遥 Ozawa Hauka

#### El milagro de las rosas バラの奇蹟

私が今回のオンライン開催スピーチコンテストに出場しようと思った理由は、スペイン語の発音を上達させるためのきっかけを作りたかったからです。

授業の先生方は、リモートであるにも関わらず

本当に熱心にスペイン語を指導してくださいま

す。しかし、今年入学したばかりで直接お会いし

て教わることが一度もなかったことから、発音を

意識して勉強することが私には出来ませんでし

た。そうして半年を過ごし、このままではダメだ

と考えていた時にスピーチコンテストの案内が届

き、参加することを決意しました。参加を決めた

後で失敗することへの不安を感じていましたが、

それも経験だと前向きに捉えて本番まで練習を繰り返しました。

コンテストを通して自分のスペイン語はまだまだであると痛感できました。そして頂いた賞がこれからもっとスペイン語を頑張りたいという活力になりました。この経験を原動力に、今後も

### スペイン語スピーチコンテストの感想

#### Categoría A (5音順)

##### 青木亜寿香 Aoki Asuka

##### Cambio Climático y Justicia 気候変動と正義

私は、今回のスピーチコンテストで、気候変動について話しました。高校では英語、日本語で何度もプレゼンやスピーチを行ってきました。しかし、習い始めて半年しか経つてないスペイン語で社会問題について話すのはボキャブラリーがとても難しく、スピーチを暗記するのにとっても苦労しました。しかし、スピーチの原稿を作つて、言いたいことをスペイン語で表現していくうちに、何よりもなりました。この経験を原動力に、今後も

積極的に様々なことに挑戦したいと思います。スピーチの発音や読み方の指導をしてくださった先生、ずっと応援してくれていた家族と友人に心から感謝しています。

**田邊夢桜 Tanabe Yumi**  
**El fracaso es prueba del esfuerzo**

私は今回、失敗は努力の証というスピーチをさせていただきました。いつもやらないで後悔している自分を変えようと思いコンテストに参加し、その経験に関する話をしました。結果、今回挑戦は自分の自信につながるとても良い経験になつたと思います。また、普段関わりのない先輩方、同じ一年生のスピーチを聞き、より一層スペイン語学習を頑張っていきたいという気持ちになりました。今年はオンライン開催、来年はどうなるか分かりませんが、どんな形でもぜひまた参加したいと思います。

**廣田明子 Hirota Akiko**  
**Mi familia 私の家族**

私は最初スピーチコンテストを出場するかどうかすごく考えました。まだスペイン語を習つて半年なのに、自分で原稿を考え、テーマも考えなければならなかつたため、私には不可能だと思い、諦めかけていました。しかし19歳を迎えた時に、この1年は、様々なことに挑戦すると目標を立てました。その事を思い出し、申込締め切りの3日前に急遽、無理だとしても、とりあえず原稿を考えてみようと紙にひたすら文章を書きました。そ

の後、教科書と辞書を見てスペイン語の文章を組み立て、締め切り当日ギリギリに申込(原稿提出)をしました。

**梅崎先生との練習の成果もあり、当日、囁むことも忘れるもなく全力を發揮して発表することができました。**

その数日後、採用メールが来て、そこからスペイン語コンテスト当日まで必死に練習しました。

梅崎先生との練習の成果もあり、当日、囁むことも忘れるなく全力を發揮して発表することができました。

思います。

**田口廉 Taguchi Ren**

**Competición por la sede de las Olimpiadas**  
**オリンピック開催都市の「ハペト・イッシュ」へ**

私は今回、2020年のオリンピック開催地決定までに、候補3都市がどのように招致を行つたかについて話しました。そこで最も意識したのは3都市の比較です。例えば内容で言うと、最初に3都市の名前と特徴を挙げて、その後1都市ずつ抱える問題とアピールポイントを詳しく紹介していました。また発表の際には1つの文でも3都市それぞれしつかり区切つて話すことで、対比の効果を狙いました。スピーチで最も重要な点は、聞き手が聞き終わつた後にどれだけ強い印象が残つているかだと私は思うので、各都市それぞれにスポットライトが当たるように伝えることを意識しました。今後も人に自分の意見を伝える際に、聞き手の立場に立つて話すことを大切にしていきたいと思います。

すべての方々に感謝しております。ありがとうございます。私にとつて忘れられない思い出になりました。

**岡本紗弥花 Okamoto Sayaka**  
**Categoría B (5音順)**  
**El impacto de los videojuegos ゲームによる影響**

オンライン授業によって通常の授業よりスペイン語を話す機会が減つていたため、練習を始めたときは思つていたより読めなくて焦りました。人前で話すことが苦手なので、一年生の頃は絶対に出ないと思つていたイベントでしたが、オンライン開催ということもあり、通常より出やすかつたです。緊張しましたし、質疑応答はグダグダになつてしまつたけれど、スピーチコンテストを通してスペイン語に向き合うことは良い経験になつたと

思います。

**中野結美子 Nakano Yumiko**  
**¿Los sustantivos japoneses tienen género?**

**日本語の名詞における性別の有無**

スピーチコンテストに際して、当初は参加の意向はなかつたのですが、音読練習や発表を通して改めてスペイン語と向き合う貴重な機会になりました。このような状況下でもオンラインで開催していたことに感謝するのと同時に、この経験を踏まえて今後より一層スペイン語の学習に励んでいきたいと思います。

西中奈々 Nishinaka Nana

**Los cambios de la vida cotidiana en tiempos de pandemia ペハ・ハ・ハ・ハクにおける日常生活の変化**

私は今回のスピーチコンテストで、コロナ禍の日常について話しました。一番身近な話題で、観客の方々も理解しやすい内容かなと考えたからです。内容を自分で考え、その内容を覚える、発音に気を付け、先生方にも発音や読み方の指導をしていただきました。この経験はスペイン語学習においてとても貴重な経験になったと思いました。自分のスキルや自信にもつながりました。今年はいろんなことが制限され、大学の友達や先生方にも会うことができませんでしたが、今年ならではのスピーチコンテストに出場することができとてもよかったです。

藤村七海 Fujimura Nanami

**Navidad durante la pandemia ロロナ禍のクリスマス**

今回のスピーチコンテストはオンラインで行われたので、あまり緊張はしませんでした。そのため落ち着いて話すことができ、内容をどう忘れてしまうこともありませんでした。しかし反対に、オンラインで行われるがゆえの難しさもありました。それはアイコンタクトやジェスチャーです。発表者はカメラを見る必要があるため、周りの表情が見えず不安でした。ジェスチャーは自分とパソコンまでの距離が近いため、あまり映らず意識することも少なかつたです。他の方の発表で、少しカメラを遠ざけてジェスチャーを取り入れていきました。彼女たちの発表はより感情が伝わることが出来、参加して良かつたなと思いました。

わりやすかったので、これからオンラインで発表をする際の参考にしたいと思いました。

武藤真愛佳 Muto Manaka

**La importancia de los dialectos 方言の重要性**

今回のスピーチコンテストでは、方言をテーマにして発表しました。地方出身である私ながらのテーマ選びが出来て良かったと思います。今回のコンテストはオンラインでの開催となり、皆さん前で発表するときは違う発表の難しさがあり、発音や抑揚に加えて表情にも気を配り発表することを心がけました。質疑応答の時に上手く答えられず、自分の発表に納得のいく内容ではなかったのですが、受賞させていただきました。自信も持つことが出来ました。これを機にさらにスペイン語学習に力を入れてみたいです。

山口凜 Yamaguchi Rin

**Mi primer viaje al extranjero 私の初めての海外旅行**

私は今回のスピーチコンテストで自分のコロナ禍での留学経験を話しました。自分の主張をスペイン語で伝える貴重な機会に私は自分だから話せることをスピーチしたいと思い、このテーマを選びました。大変な状況の中で感じた事を自分の言葉で聞いてくださった皆さんに伝えられたと思います。

**2020年度スペイン語学科  
スピーチコンテスト受賞者****Categoría A**

- 1位
- 2位
- 3位（同点）

田邊夢桜（1年）  
廣田明子（1年）  
青木亜寿香（1年）  
小澤遥（1年）

**Categoría B**

- 1位
- 2位
- 3位

山田菜摘（3年）  
武藤真愛佳（3年）  
西中奈々（3年）

その他、審査員特別賞、観客が選ぶ特別賞などが授与されました。

山田菜摘 Yamada Natsumi  
**Variedad del español ペペイ・ハ語の多様性**

私は昨年9月から3ヶ月間スペインのアリカンテに留学し、その当時から6月にセレントホールの舞台に立ってスピーチすることを帰国後の目標の一つとしていました。結果としてはオンラインでの開催という異例の会となりましたが、そのおかげで留学中にお世話になつたスペインの方々や、他県に住む友人にも観てもらうことができました。

私が今回扱つた「スペイン語の多様性」というテーマはとても大きく、難しい問題でしたが、このスピーチコンテストを通して、発音や抑揚などの話し方のみならず、これまでスペイン語学科で学んできたことや、留学中の体験を振り返り、アウトプットすることができたと感じています。今後もこの経験を糧にさらなる成長をしていくことを思います。